

外国にルーツを持つ 子どもの居場所づくり

2025年1月22日(水) 13:30~16:00

参加費
無料

zoom ウェビナー

多文化共生社会の実現に向けて、すべての子どもたちが安心して成長できる居場所づくりは非常に重要です。このセミナーでは、外国にルーツを持つ子どもたちの居場所づくりに取り組んでいる方をお招きし、パネルディスカッションを通じて地域の課題や支援について共に考えます。皆さまのご参加をお待ちしています！



プログラム(予定)

13:30-13:35	開会挨拶	自治体国際化協会 多文化共生課
13:35-13:50	基調講演	土田 久美子 氏
13:50-14:30	活動紹介	奥村 ルシア 氏、大城 ロクサナ 氏、山本 昌彦 氏、林 リダ 氏
14:30-14:40	途中休憩	
14:40-15:40	パネルディスカッション	進 行：土田 久美子 氏 パネリスト：上記4名
15:40-16:00	質疑応答	

対 象

自治体・地域国際化協会・市区町村国際交流協会職員、
NPO・NGO等関係団体の職員、 その他多文化共生に関心のある方

定 員

400名

【お問い合わせ】



一般財団法人
自治体国際化協会 多文化共生課
✉ tabunka@clair.or.jp
☎ 03-5213-1725

▶ 申し込み

<https://shorturl.at/36ihn>
または、右記のQRコードより



2025年1月10日(金) ✕

ファシリテーター

▶ 駒澤大学 文学部社会学科 准教授 土田 久美子 氏

高校時代にニューヨークで異文化に触れた経験をきっかけに日系アメリカ人の研究を始め、それを通してマイノリティ集団の社会変革力に強く関心を抱くようになりました。東北大学大学院で博士号を取得後、東京外国語大学で特任講師、駒澤大学で講師を経て准教授に就任し、現在はアメリカの日系コミュニティの研究を継続するとともに、日本で暮らす外国出身者のコミュニティや働き方の研究にも注力しています。

パネリスト

▶ 彦根市人権政策課 ポルトガル語通訳 奥村 ルシア 氏

ブラジル生まれの日系二世です。1983年、ブラジルサンカルロス国立大学パウリスタ医科大学看護学科を卒業、1990年に来日し、1999年に彦根市に移住しました。彦根市では、「VOICE」グループでの翻訳活動や、病院・学校での支援活動を行い、日系人支援グループ「グループ・イペ」の代表として、子どもたちの教育支援にも尽力してきました。さらに、彦根市人権政策課で通訳として、日系ブラジル人の生活・労働問題に対応しています。

▶ (一社) ひょうごラテンコミュニティ 代表 大城 ロクサナ 氏

日系二世ペルー人です。1991年に来日し、阪神・淡路大震災を経験したことをきっかけにボランティア活動を始め、2000年からひょうごラテンコミュニティの代表として日本に住んでいるスペイン語圏の人々を支える活動をしています。生活情報をスペイン語で提供する無料情報誌の発行や、FMラジオ番組のパーソナリティとして活動するとともに、スペイン語圏の子どもたちのために母語教室を運営しています。さらに、ラテンアメリカ系の人々に日本での生活相談や日本語学習の重要性を伝え続けています。

▶ 小学校教員 (大阪市) 山本 昌彦 氏

フィリピン人の妻を持つ、大阪の公立小学校の教員です。アメリカ生まれでフィリピンにルーツを持つ、3重国籍の子どもの親でもあります。外国にルーツを持つ子どもに対する学校における取組、教育現場の現状や課題について紹介いただきます。また、日本に来た子どもたちが自分のルーツを出会い、居場所をつくるために、学校・地域・NGOが連携することの重要性についてもお伝えしていただきます。

▶ (一社) 清真の木 代表理事 林リダ 氏

パキスタン人の父と台湾人の母を持ち、神奈川県で生まれ育ったムスリマです。大学卒業後、公立高校の理科教員や民間企業で勤務し、学生時代からムスリムの子ども支援活動に取り組んできました。2024年9月に「清真の木」を設立し、神奈川県を中心に、ムスリムの子ども向けのイベントやイスラームに関する勉強会、学習支援を行っています。